

視察ルポ

緑のリサイクル事業などを視察

《文教委員会》

岐阜市では、緑のリサイクル事業として取り組まれている剪定枝のチップ処理を視察しました。市の直営のチップングロータリーを活用しているとのこと。この他、市が委託した樹木医が民有地や個人の木の診断を無料で行うシステムも導入されていました。

高山市では、平成十二年にオープンした飛騨高山ビッグアリーナを視察しました。総工費三十八億三千五百万円。メインアリーナや武道館、弓道場、トレーニングルーム、クライミングウォールなどの最新設備を備えた施設でした。素材には飛騨の銘木をふんだんに使った郷土色豊かなもので、全景は北アルプスの山々がイメージされています。

平成十三年五月二十三日から二十五日の三日間、岐阜県多治見市、多治見市では、青少年まちづくり市民会議とほほえみ相談員について研修しました。青少年まちづくりでは、校区ごとに窯元ウォッチングや天体観望など多彩な行事が行われており、青少年の健全育成が小学校区ごとに熱心に取り組まれています。



岐阜市を視察する文教委員会

連続立体交差事業などを視察

《建設委員会》

建設委員会は、五月二十一日から二十三日までの日程で行政視察を行いました。

旭川市では、JR旭川駅周辺整備事業の視察を行いました。駅南地区には、文教施設が集中して建設されカルチャーゾーンと位置づけられています。軌道が高架でないため軌道に平走して流れる忠別川に橋が架けられず既成都市地区とカルチャーゾーンを結ぶ自由通路などもつくり街の一体化を実現するためJRの高架化など行おうとしています。

札幌市では、鉄道高架事業が次々に進められ交通渋滞の解消が着々と実現しています。札幌線の連続立体交差事業では、仮線も含めすべての工事が鉄道用地内で行われ用地費が不要で建設単価が非常に安くすみ工期も短くて完了し



札幌市を視察する建設委員会

ています。また高架化の完了により不要になった鉄道用地は無償で市に譲渡され区画整理内の駅への接続道路として利用されています。

函館市では、駅前土地区画整理事業を視察しました。この区画整理事業は、駅前広場の拡張整備を中心に進められ、駅舎の移転改築なども計画されていますが減歩率は二十二パーセントと低く押さえられています。

今回の視察で注目したのはJRの積極的協力です。JRとしても輸送力増強の魅力があったからでしょうが、連続立体化事業や駅前整備事業で、これほど鉄道事業者の協力があつた例を知りません。春日市で連立事業でも今回の視察を活かしたいと考えています。

編集後記

「人命は地球よりも重い」と言われますが、政治や宗教、貧困など様々な要因が絡み合った米国の同時多発テロは、罪もない多くの人々をも巻き込み、世界中を震撼させ、国際貢献のあり方、危機管理のあり方など様々な問題提議となつていきます。

私ども、市議会も地球市民の一人として真剣に考えてまいります。

(藤井)

- 議会報編集特別委員会
委員長 藤井俊雄
副委員長 岩切幹嘉
委員 村山正美
委員 塚本良治

議会報編集特別委員会では、議会報についての市民のみなさんご意見、ご感想をお待ちしています。

次の定例会は
12月5日(水)に
開会の予定です